

前年度課室名	生活支援課
課名	社会福祉課

予算	款 項 目			決算書	
	3	3	2	114	頁

目 名
児童措置費

事務事業名称
保育所運営委託事業

1. 概要

目的	保育事業を実施するため認可私立保育園へ運営費を交付する	対象	保育に欠ける児童
事業概要	<p>○保育所運営事業・・・保育所運営委託事業 認可私立保育所：扇田保育園、双葉保育園、百枝保育園、すがお保育園、大野ルンビニー保育園、千歳保育園 日々家庭での保育に欠ける乳幼児を、市内6園の認可私立保育所と管外の保育所へ入所委託を行うため運営費を交付</p> <p>○にここに保育支援事業 戸籍上第2子3歳未満児の保育料を半額、第3子以降3歳未満児の保育料を無料とし、保育料の多子軽減を図った</p>		

臨／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	保育所運営事業	運営費の交付	扶助費	431,374	431,374	229,141		85,490	116,743	3
経常	にここに保育支援事業	述べ対象者:2,307人	扶助費	16,143	16,143	8,071	7,281		791	3
計				447,517	447,517	237,212	7,281	85,490	117,534	

2. 指標設定

成果指標	指標名	保育に欠ける児童の受け入れ	目標年度	H26	指標の設定理由			
	数値	375人			豊後大野市キラキラこどもプランの数値目標として設定しているため			
活動指標	指標	a	待機児童の解消	b	定員の見直し	c	保育所の改築	d
	数値	目標	0人	目標	10人	目標	2ヶ所	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
保育に欠ける児童の受け入れ	人	435.0	410.0	428.0
	%	116.0	109.3	114.0

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a	待機児童の解消 人	6	24	23
		94	76	77
b	定員の見直し	—	—	—
c	保育所の改築 ヶ所	0	0	0
		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
低年齢児の受け入れを図っているが、各保育所とも保育士の確保に苦慮している
対応（改善点等）
平成24年4月1日付けで、10名の定員増を図り、待機児童の解消に一步前進したが、完全解消には至っていない。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

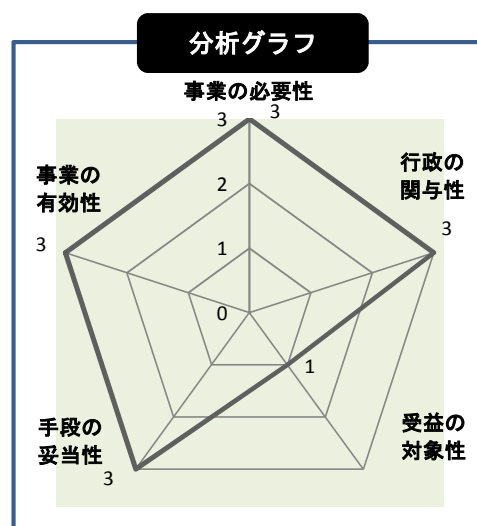
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		448,899	442,086	447,517	639,374
財源内訳	国費	150,405	150,608	152,760	256,488
	県費	88,938	88,502	84,452	140,124
	市債		12,269	7,281	11,300
	その他	82,160	81,778	85,490	129,034
	一般財源	127,396	108,929	117,534	102,428
うち経常		127,396	108,929	117,534	102,428
事業費に係る人件費		5,973	6,132	6,020	6,011

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
公立保育所4園の民営化に伴い、認可私立保育所が10園となったが、H25年度以降も現状を維持するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 保育サービスの充実は市の責任のもとに行われなければならない
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令の基づき市の負担が義務付けられているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 保育に欠ける児童が対象のため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 待機児童の解消、保育サービスの充実、定員の見直しは、適切な手段であると判断する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標の達成率は高く、有効性は高いと判断できるため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	待機児童の解消に一層の取組を行うこと。併せて保育料徴収率の向上を図ること。